



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月29日

上場会社名 ブックオフグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9278 URL <https://www.bookoffgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 河本 宏文 TEL 042-769-1513
 定時株主総会開催予定日 2020年6月27日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	84,389	4.4	1,428	△7.8	1,898	△10.5	240	△88.9
2019年3月期	80,796	—	1,550	—	2,120	—	2,172	—

(注) 包括利益 2020年3月期 232百万円 (△89.7%) 2019年3月期 2,250百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	13.77	—	1.9	4.6	1.7
2019年3月期	112.19	—	16.7	4.8	1.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 13百万円 2019年3月期 △8百万円

(注) 当社は、2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、2019年3月期の対前期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	41,535	12,848	30.7	731.85
2019年3月期	40,647	13,006	31.6	736.20

(参考) 自己資本 2020年3月期 12,768百万円 2019年3月期 12,844百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	3,543	△2,744	△832	6,094
2019年3月期	2,751	△559	△9,895	6,142

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	—	—	15.00	15.00	261	13.4	2.2
2020年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00	104	43.6	0.8
2021年5月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 当社は、2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前第2四半期までの実績はありません。

2. 当社は、定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であるため記載していません。

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年5月31日）

当社は、2020年6月27日開催予定の第2回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、2021年より決算期を3月31日から5月31日に変更することを予定しております。

なお、2021年5月期の連結業績予想については、今後見通し開示が可能な状態となり次第、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ジュエリーアセットマネジャーズ、除外 3社 （社名）リユースコネクト株式会
社、SCI BOC FRANCE、BOOKOFF FRANCE E. U. R. L.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	20,547,413株	2019年3月期	20,547,413株
② 期末自己株式数	2020年3月期	3,100,000株	2019年3月期	3,100,000株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	17,447,413株	2019年3月期	19,366,866株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

（その他特記事項）

前連結会計年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となったブックオフコーポレーション株式会社の連結財務諸表を引き継いで作成しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(連結財務諸表作成の基本となる重要な事項)	15
(連結貸借対照表関係)	16
(連結損益計算書関係)	16
(連結包括利益計算書関係)	17
(セグメント情報等)	18
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

文中における将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。また、当社グループが2021年3月期に30年目を迎えるにあたって中期経営方針を策定し、この方針の中で改めて経営理念に立ち返り、私たちのミッションとして「多くの人楽しく豊かな生活を提供する」を掲げております。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強さを活かし、「本を中核としたリユースのリーディングカンパニー」として、世の中の変化に対応して最も多くのお客様がご利用されるリユースチェーンとなることを目指します。

そのための基本戦略として次の2つを掲げております。

基本戦略Ⅰ：個店を磨く

店舗型とネット型それぞれのリユースサービスを磨き上げることが、最も多くのお客様にご利用いただけるリユースのリーディングカンパニーとなるための出発点と考え、各店舗別パッケージ・サービスに応じた磨き込みを行います。

基本戦略Ⅱ：総力戦で取り組む

これまでの当社グループは店舗と店舗以外の事業がそれぞれ個別にサービスを提供してはりましたが、今後は会員制度や販売・買取のプラットフォーム、それらを支えるシステム等を統合し共通化してまいります。そして、各サービスで蓄積された会員・商品情報、運営ノウハウ等の資産を全てのサービスで活用いたします。これらを実現するのが「ひとつのBOOKOFF」構想です。

このような経営方針の下、当連結会計年度に各店の地域特性に応じた取扱い商材の追加を推進するとともに、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」を5店舗（5号札幌宮の沢店、イトーヨーカドー流山店、水戸姫子店、アグロガーデン神戸駒ヶ林店、25号八尾永畑店）、「BOOKOFF」単独店を1店舗、「BOOKOFF 総合買取窓口」を3店舗、マレーシアでの「Jalan Jalan Japan」を2店舗出店、「BOOKOFF」単独店から「BOOKOFF PLUS」へのリニューアルを1店舗実施、物流倉庫内業務の効率化推進等に取り組みました。また、「ひとつのBOOKOFF」構想を実現するべく、アプリ会員向けのサービス施策の充実や電子買取システムのフランチャイズ加盟店向け展開のほか、ECサイト「BOOKOFF Online」を活用したオムニチャネル化並びに020戦略を推進するべく、積極的な投資を行いました。

一方で店舗等にかかる固定資産について将来の回収可能性を検討したことで、減損損失を計上したほか、物流機能の更なる効率化のための物流センターの統廃合等を行った結果、固定資産除却損を計上しました。

これらの結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高84,389百万円（前連結会計年度比4.4%増）、営業利益1,428百万円（前連結会計年度比7.8%減）、経常利益1,898百万円（前連結会計年度比10.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益240百万円（前連結会計年度比88.9%減）となりました。

なお、当連結会計年度より、当社グループの報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

【業績推移】

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期
売上高	80,796	84,389
営業利益	1,550	1,428
経常利益	2,120	1,898
特別利益	160	18
特別損失	503	1,015
税金等調整前当期純利益	1,777	901
親会社株主に帰属する当期純利益	2,172	240

(百万円未満切捨て)

【出退店推移】

(単位:店)

		2019年3月期		2020年3月期	
		出店	退店	出店	退店
出退店合計	グループ	(注1) 10	(注2) 14	(注5) 33	11
	FC加盟店	(注3) 3	(注4) 29	—	(注6) 16
期末店舗数	グループ	382		404	
	FC加盟店	413		397	

(注1) フランチャイズ加盟企業から譲受けしたBOOKOFF 7店舗を含んでおります。

(注2) フランチャイズ加盟企業に譲渡したBOOKOFF 1店舗を含んでおります。

(注3) 当社グループが譲渡したBOOKOFF 1店舗を含んでおります。

(注4) 当社グループが譲受けしたBOOKOFF 7店舗を含んでおります。

(注5) フランチャイズ加盟企業から譲受けしたBOOKOFF 9店舗及び今期より店舗数に加えた総合買取窓口13店舗を含んでおります。

(注6) 当社グループが譲受けしたBOOKOFF 9店舗を含んでおります。

次期の見通し

新型コロナウイルス感染症の拡大が、社会や経済全体、個人の生活や消費に影響を与え、世界各国において先行きが不透明な状況が継続すると予測されます。

当社グループにおいては、政府による緊急事態宣言並びに各自治体からの休業要請を受け、当該地域の1,000㎡超の店舗を中心に、グループ直営店の過半の店舗を全日休業もしくは土日祝日休業としたほか、他の地域・店舗においても営業時間の短縮など、お客様・従業員の安全確保に取り組んだ結果、直営既存店売上高に影響が出ております。

一方で、休業が伴わない店舗においては、足元の売上高が前年を大きく上回るなど、書籍、ソフトメディアを中心に、いわゆる「巣ごもり需要」が窺えるほか、休業店舗についても営業時間や売場面積を縮小するなど、感染防止に最大限の配慮を払いながら順次営業を再開するとともに、不測の事態に備え、お取引金融機関からは十分な資金調達枠を確保しております。

当社グループとしては今後も、お客様・従業員の安全を第一に店舗における感染拡大防止に取り組むとともに、「BOOKOFF Online」などのECチャネルも活用し、お客様の需要にお応えしながら、中期経営方針で掲げる「個店を磨く」・「総力戦で取り組む」の方針に従い、既存店舗の磨き込み、EC・店舗間の連携促進、アプリ会員基盤の拡大、業務の更なる効率化、海外や新たな事業領域への挑戦などを推進してまいります。

このような状況等を踏まえ、現段階では、業績に与える影響に未確定要因が多いことから、決算期変更後の2021年5月期通期連結業績予想は合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当連結会計年度における流動資産残高は23,704百万円(前連結会計年度末は23,765百万円)となり、60百万円減少しました。売掛金が308百万円、商品が213百万円増加した一方で、その他流動資産が539百万円減少したことが主な要因です。

(固定資産)

当連結会計年度における固定資産残高は17,830百万円(前連結会計年度末は16,882百万円)となり、948百万円増加しました。有形固定資産が341百万円、無形固定資産が799百万円増加した一方で、投資その他の資産が191百万円減少したことが主な要因です。

(負債)

当連結会計年度における負債残高は28,687百万円(前連結会計年度末は27,640百万円)となり、1,046百万円増加しました。流動負債が178百万円、固定負債が868百万円増加したことが主な要因です。

(純資産)

当連結会計年度における純資産残高は12,848百万円(前連結会計年度末は13,006百万円)となり、158百万円減少しました。親会社株主に帰属する当期純利益を計上した一方で、その他有価証券評価差額金の減少や剰余金の配当を実施したこと等が主な要因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ47百万円減少し6,094百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は3,543百万円（前連結会計年度は2,751百万円増加）となりました。これは、税金等調整前当期純利益が901百万円であり、減価償却費1,581百万円、減損損失592百万円、のれん償却額130百万円、固定資産除却損229百万円等により資金が増加した一方、売上債権の増加263百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は2,744百万円（前連結会計年度は559百万円減少）となりました。これは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得1,161百万円、システムへの追加投資等による無形固定資産の取得449百万円、店舗譲受による支出590百万円があったことが主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は832百万円（前連結会計年度は9,895百万円減少）となりました。これは、リース債務の返済による支出416百万円、配当金の支払額261百万円により資金が減少したことが主な要因です。

<自己資本比率、時価ベースの自己資本比率、債務償還年数、インタレスト・カバレッジ・レシオ>

	2020/3期
自己資本比率 (%)	30.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	33.7
債務償還年数 (年)	5.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	22.1

- (注) 自己資本比率 (%) : 自己資本/総資産
 時価ベースの自己資本比率 (%) : 株式時価総額/総資産
 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 債務償還年数 (年) : 有利子負債/営業活動によるキャッシュ・フロー
 有利子負債は、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金、長期未払金の合計としております。
 インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) : 営業活動によるキャッシュ・フロー/利払い

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益配分を経営の最重要事項の1つと認識し、業績向上を通じた増配を目指しつつ、内部留保については、財務体質の強化と将来の事業基盤強化につながる戦略的投資に対して有効に活用してまいりたいと考えております。

また、連結純利益に対する配当性向は25%程度を目処に、業績に裏付けされた安定的な配当を実施していく方針であります。

当期は特別損失の計上等により、親会社株主に帰属する当期純利益が減少したため、当期の期末配当金は、2020年5月19日に公表しました「業績予想の修正、特別損失の計上、配当予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ」のとおり、1株当たり6円とさせていただきます。

次期（決算期変更後の2021年5月期）の配当金につきましては、現段階では、業績に与える影響に未確定要因が多いことから、業績予想を合理的に算定することが困難なため、配当予想につきましても未定といたします。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、併せて速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,142	6,094
売掛金	1,590	1,898
商品	12,915	13,129
その他	3,122	2,583
貸倒引当金	△6	△0
流動資産合計	23,765	23,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,936	15,383
減価償却累計額	△11,166	△11,196
建物及び構築物（純額）	3,770	4,187
土地	175	175
リース資産	2,470	2,617
減価償却累計額	△1,118	△1,258
リース資産（純額）	1,352	1,359
建設仮勘定	1	3
その他	2,467	2,497
減価償却累計額	△1,833	△1,949
その他（純額）	633	548
有形固定資産合計	5,932	6,273
無形固定資産		
のれん	84	793
リース資産	12	6
その他	1,107	1,203
無形固定資産合計	1,204	2,003
投資その他の資産		
投資有価証券	※1 455	※1 341
繰延税金資産	1,643	1,543
差入保証金	7,530	7,561
その他	175	166
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	9,744	9,553
固定資産合計	16,882	17,830
資産合計	40,647	41,535

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	431	459
短期借入金	5,926	5,960
1年内返済予定の長期借入金	3,716	3,803
リース債務	348	417
未払金	2,537	2,416
未払法人税等	135	282
売上割戻引当金	546	512
店舗等閉鎖損失引当金	44	27
その他の引当金	469	497
その他	2,361	2,321
流動負債合計	16,518	16,697
固定負債		
長期借入金	7,775	8,058
リース債務	1,159	1,181
店舗等閉鎖損失引当金	29	9
資産除去債務	1,747	2,358
その他	410	381
固定負債合計	11,121	11,990
負債合計	27,640	28,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	6,489	6,485
利益剰余金	8,571	8,550
自己株式	△2,343	△2,343
株主資本合計	12,817	12,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	158	31
為替換算調整勘定	△131	△55
その他の包括利益累計額合計	27	△24
非支配株主持分	161	79
純資産合計	13,006	12,848
負債純資産合計	40,647	41,535

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	80,796	84,389
売上原価	32,561	33,312
売上総利益	48,235	51,077
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	7	△5
給料及び手当	4,848	5,318
パート・アルバイト給与	12,831	14,278
退職給付費用	30	30
地代家賃	11,110	11,124
その他	17,856	18,902
販売費及び一般管理費合計	46,684	49,648
営業利益	1,550	1,428
営業外収益		
持分法による投資利益	—	13
設備賃貸収入	301	332
自動販売機等設置料収入	142	131
古紙等リサイクル収入	357	348
その他	255	144
営業外収益合計	1,056	969
営業外費用		
支払利息	156	159
持分法による投資損失	8	—
設備賃貸原価	278	307
その他	43	32
営業外費用合計	486	500
経常利益	2,120	1,898
特別利益		
固定資産売却益	73	—
店舗譲渡益	26	—
移転補償金	60	6
関係会社清算益	—	11
特別利益合計	160	18
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
店舗等閉鎖損失	49	74
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	40	2
固定資産除却損	121	229
減損損失	※ 274	※ 592
関係会社清算損	—	71
災害による損失	18	43
特別損失合計	503	1,015
税金等調整前当期純利益	1,777	901
法人税、住民税及び事業税	373	369
法人税等調整額	△791	248
法人税等合計	△418	617
当期純利益	2,195	283
非支配株主に帰属する当期純利益	23	43
親会社株主に帰属する当期純利益	2,172	240

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,195	283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△58
為替換算調整勘定	△22	75
持分法適用会社に対する持分相当額	67	△67
その他の包括利益合計	※ 54	※ △51
包括利益	2,250	232
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,228	188
非支配株主に係る包括利益	21	43

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,652	4,192	6,605	△1,255	13,194
当期変動額					
剰余金の配当			△206		△206
親会社株主に帰属する当期純利益			2,172		2,172
自己株式の取得				△2,343	△2,343
自己株式の消却		△1,255		1,255	－
株式移転による増減	△3,552	3,552			－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	△3,552	2,296	1,966	△1,088	△377
当期末残高	100	6,489	8,571	△2,343	12,817

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	81	△110	△28	141	13,307
当期変動額					
剰余金の配当					△206
親会社株主に帰属する当期純利益					2,172
自己株式の取得					△2,343
自己株式の消却					－
株式移転による増減					－
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	77	△21	56	20	76
当期変動額合計	77	△21	56	20	△301
当期末残高	158	△131	27	161	13,006

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	6,489	8,571	△2,343	12,817
当期変動額					
剰余金の配当			△260		△260
親会社株主に帰属する当期純利益			240		240
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△4			△4
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	△4	△20	－	△24
当期末残高	100	6,485	8,550	△2,343	12,792

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	158	△131	27	161	13,006
当期変動額					
剰余金の配当					△260
親会社株主に帰属する当期純利益					240
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					△4
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△126	75	△51	△82	△133
当期変動額合計	△126	75	△51	△82	△158
当期末残高	31	△55	△24	79	12,848

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,777	901
減価償却費	1,570	1,581
減損損失	274	592
のれん償却額	75	130
貸倒引当金の増減額（△は減少）	7	△5
店舗等閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	40	2
売上割戻引当金の増減額（△は減少）	△134	△56
支払利息	156	159
持分法による投資損益（△は益）	8	△13
店舗等閉鎖損失	49	74
投資有価証券評価損益（△は益）	—	2
固定資産除却損	121	229
移転補償金	△60	△6
関係会社清算益	—	△11
関係会社清算損	—	71
災害による損失	18	43
売上債権の増減額（△は増加）	△103	△263
たな卸資産の増減額（△は増加）	78	54
仕入債務の増減額（△は減少）	△20	14
未払金の増減額（△は減少）	495	△82
その他	△449	400
小計	3,903	3,819
利息及び配当金の受取額	7	7
利息の支払額	△155	△160
移転補償金の受取額	60	6
災害損失の支払額	△18	△29
法人税等の還付額	14	429
法人税等の支払額	△1,059	△529
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,751	3,543

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△663	△1,161
無形固定資産の取得による支出	△393	△449
差入保証金の増加による支出	△126	△381
差入保証金の減少による収入	562	359
店舗譲受による支出	△160	△590
その他	222	△519
投資活動によるキャッシュ・フロー	△559	△2,744
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	539	33
長期借入れによる収入	5,400	4,050
長期借入金の返済による支出	△5,143	△4,090
新株予約権付社債の償還による支出	△7,700	—
リース債務の返済による支出	△402	△416
自己株式の取得による支出	△2,343	—
配当金の支払額	△205	△261
非支配株主への配当金の支払額	△1	△2
その他	△39	△144
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,895	△832
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△13
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△7,717	△47
現金及び現金同等物の期首残高	13,860	6,142
現金及び現金同等物の期末残高	6,142	6,094

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 12社

主要な連結子会社の名称

ブックオフコーポレーション(株)

(株)ブックオフウィズ

(株)ブックレット

当連結会計年度において、リユースコネクト(株)は連結子会社であるブックオフコーポレーション(株)と合併したため、連結の範囲から除いております。SCI BOC FRANCE及びBOOKOFF FRANCE E. U. R. L. は清算したため、連結の範囲から除いておりますが、清算までの損益計算書については連結しております。

また、当連結会計年度より、(株)ジュエリーアセットマネジャーズ及びその連結子会社であるAidect Hong Kong Limitedの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 主要な非連結子会社の名称等

該当事項はありません。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法を適用した関連会社の数 1社

持分法適用の関連会社名

(株)BOSパートナーズ

(2) 持分法を適用していない主要な非連結子会社及び関連会社の名称等

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度に関する事項

連結子会社のうち、(株)ブックオフウィズ、(株)ブックレット及びBOOKOFF U. S. A. INC. の決算日は2月末日であります。なお、連結財務諸表の作成にあたっては、同決算日現在の財務諸表を使用しております。ただし、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(株)ジュエリーアセットマネジャーズ及びその連結子会社であるAidect Hong Kong Limitedの決算日は8月末日であります。連結財務諸表の作成にあたっては、2月末日に仮決算を実施しております。ただし、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

BOK MARKETING SDN. BHD. の決算日は9月末日であります。連結財務諸表の作成にあたっては、12月末日に仮決算を実施しております。ただし、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

なお、上記以外は、最近の四半期報告書(2020年2月14日提出)における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

（連結貸借対照表関係）

※1 非連結子会社及び関連会社に対するものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
投資有価証券（株式）	110百万円	55百万円

2 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行10行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
当座貸越極度額の総額	9,820百万円	10,750百万円
借入実行残高	5,926	5,960
差引額	3,893	4,789

（連結損益計算書関係）

※ 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
店舗等	建物及び構築物等	BOOKOFF SUPER BAZAAR ノースポート・モール店 (横浜市都筑区) 等	274

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗等を基本単位としてグルーピングしております。

当連結会計年度において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び設備で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び設備、使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

その内訳は、次のとおりであります。

建物及び構築物	196	百万円
リース資産（有形固定資産）	58	
その他	18	
合計	274	

なお、当資産グループの回収可能価額は、店舗等については使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスであるため、回収可能価額を零として測定しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
店舗等	建物及び構築物等	BOOKOFF SUPER BAZAAR 307号枚方池之宮店 (大阪府枚方市) 等	592

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗等を基本単位としてグルーピングしております。

当連結会計年度において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び設備で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び設備、使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

その内訳は、次のとおりであります。

建物及び構築物	441	百万円
リース資産(有形固定資産)	110	
その他	39	
合計	592	

当資産グループの回収可能価額は、店舗等については使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスであるものは回収可能価額を零として評価し、それ以外については、将来キャッシュ・フローを5.5%で割り引いて算定しております。

なお、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2020年3月下旬以降、一部店舗において休業等の対応を行ったため、将来キャッシュ・フローの算定に影響を及ぼしております。

これらの影響は、内閣官房から公表されている緊急事態宣言や政府・各自治体の取り組み、当社グループの4月の営業店舗の状況並びに5月以降順次営業を再開していることを参考にし、当社グループの売上高等が感染拡大前の水準まで回復するのは2020年8月以降と仮定してキャッシュ・フローを算定しております。

上記の結果、2020年3月期において固定資産の減損損失を592百万円計上しております。

(連結包括利益計算書関係)

※ その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
その他有価証券評価差額金：		
当期発生額	18百万円	△89百万円
組替調整額	—	—
税効果調整前	18	△89
税効果額	△8	30
その他有価証券評価差額金	9	△58
為替換算調整勘定：		
当期発生額	△22	15
組替調整額	—	94
税効果調整前	△22	109
税効果額	—	△34
為替換算調整勘定	△22	75
持分法適用会社に対する持分相当額：		
当期発生額	67	△67
組替調整額	—	—
持分法適用会社に対する持分相当額	67	△67
その他の包括利益合計	54	△51

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

「当連結会計年度（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載のとおりであります。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

当連結会計年度より、報告セグメントを従来の「リユース店舗事業」「ブックオフオンライン事業」の2区分から単一セグメントに変更しております。この変更は、「ひとつのBOOKOFF」構想のもと、ネット販売システムの導入でリアル店舗販売とオンライン販売の融合が進捗したため、セグメントを統合することが、より取引実態に即した経営成績を表示すると判断したことによるものであります。

この変更により、当社グループは単一セグメントとなることから、前連結会計年度及び当連結会計年度のセグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	736円20銭	731円85銭
1株当たり当期純利益金額	112円19銭	13円77銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 金額 (百万円)	2,172	240
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属 する当期純利益金額 (百万円)	2,172	240
普通株式の期中平均株式数 (千株)	19,366	17,447

（重要な後発事象）

該当事項はありません。